

DSQIID を改訂して作成された、NTG - 認知症早期発見尺度は、軽度の認知症や認知機能障害の早期のサインが見られると疑われる、成人した知的障害者の早期の判別尺度として使用することが出来ます。NTG - EDSD は、アセスメント、または診断のための道具ではありませんが、支援者や家族介護者が機能低下や健康問題、また記録情報として便利に、より進んだアセスメントとして使用できる管理的検査です。また、メディケア受給者に対する Affordable Care Act による年1回のウェルネス訪問の一部として必須の、認知評価の一環として機能します。この検査は、アルツハイマー病に対処するための、アメリカにおける国家計画のアクション2.Bに準拠しています。

この検査は、40歳に達したダウン症候群の人に対して年1回定期的に、もしくはその人の基礎的能力を明らかにするための検査としての使用が推奨されます。また、他のリスクにある知的障害や発達障害の人で、認知機能の変化が疑われる、若しくは現れ出した人に対しても使用できます。この検査のフォームは、家族、サービス機関に所属する支援者、または観察や対象者の個人情報を使用している行動や健康の専門家といった対象者を良く知る人（対象者を6ヵ月以上知る人）であれば誰でも記入出来ます。

検査の所要時間は、15分から60分です。また、いくつかの情報は、個人の医療/健康の記録から得ることができます。より詳しくは、NTG - EDSD マニュアルをご覧ください (www.aadmd.org/ntg/screening)。

(1) ファイル番号：

(2) 日付：

対象者：(3) 氏

(4) 名

(5) 生年月日：

(6) 年齢：

(7) 性別：

<input type="checkbox"/>	女性
<input type="checkbox"/>	男性

(8) 最もあてはまる知的障害のレベル

<input type="checkbox"/>	知的障害なし
<input type="checkbox"/>	ボーダーライン (IQ70-75)
<input type="checkbox"/>	軽度知的障害 (IQ55-69)
<input type="checkbox"/>	中度知的障害 (IQ50-54)
<input type="checkbox"/>	重度知的障害 (IQ25-39)
<input type="checkbox"/>	最重度知的障害 (IQ24 以下)
<input type="checkbox"/>	不明

(9) 診断 (あてはまるもの全て選択)

<input type="checkbox"/>	自閉症
<input type="checkbox"/>	脳性小児まひ
<input type="checkbox"/>	ダウン症候群
<input type="checkbox"/>	脆弱X症候群
<input type="checkbox"/>	知的障害
<input type="checkbox"/>	プラダー・ウィリー症候群
<input type="checkbox"/>	その他：

使用説明：

それぞれの質問について、個人や状況に一番近いものを選択してください。

対象者の現在の住居：

- 一人暮らし
- 配偶者もしくは友達と同居
- 両親もしくは他の家族と同居
- 有償の支援者と同居
- グループホーム、アパート、管理がされている住居、等に入居
- 高齢者住宅に入居
- 集合住宅に入居
- 長期入所施設に入所
- その他：

(10) 最近の日常における身体状態 :

	素晴らしく良い
	とても良い
	良い
	まあまあ
	悪い

(11) 1年前と比較した最近の身体状態は :

	より良い
	まあ良い
	ほぼ同じ
	少し悪い
	悪い

(12) 1年前と比較した最近の精神状態は :

	より良い
	まあ良い
	ほぼ同じ
	少し悪い
	悪い

(13) 最近のコンディション (あてはまるもの全て選択)

	視覚障害
	盲目 (視覚がとても制限されているまたは全く見えない)
	眼鏡によって矯正
	聴覚障害
	耳が聞こえない (とても制限されているまたは聞えない)
	補聴器によって矯正
	歩行障害
	歩行不可一車いす使用
	歩行不可一車いすを押してもらい移動

(14) 最近 (過去) の重要なライフイベント (あてはまるもの全て選択)

	近親者の死
	日常生活における変化、仕事や日中活動
	慣れ親しんだ支援者の変更
	新たな同室者/同居者
	不慮の事故による病気や障害
	意に反する薬物療法もしくは薬物療法の終了
	人間関係における混乱
	犯罪被害/虐待
	その他 :

(15) てんかん発作

	最近発作が起きた
	長期に亘って発作が発生
	幼少期に発作があったが成人になってからはない
	てんかん発作はない

もし MCI か 認知症が記録されていたら 16、17、18 に回答してください

(16) 診断歴

軽度知的障害 [MCI] または認知症を以前に診断された (Dx) ?

[] いいえ

[] はい、MCI

Dx 日 :

[] はい、認知症

Dx 日 :

認知症の種類 :

診断者

老人病専門医

神経科医

内科医

精神科医

心理士

その他 :

(17) MCI/認知症罹患日の記録

[認知症の疑いが浮上した日]

大まかな年月を記録

(18) コメント/ 認知症の疑いに関する説明

[あてはまる欄をチェックしてください]

	元々そう である	元々そう であった がより低 下した	新しい兆 候である	該当しな い
(19) 日常生活動作				
体を洗う/入浴するのに支援が必要				
着替えをするのに介助が必要				
きちんと服をきることが出来ない (例: 後ろ前に着る、不完全、気候に合っていない)				
服を脱いでしまう (例: 公共の場で)				
食事に介助を要する (食事を刻む、一口大にする、支える)				
排泄に介助を要する (場所を探す、排泄する)				
失禁をする (時々、まれに、を含む)				
(20) 言葉とコミュニケーション				
率先して会話をしない				
言葉を思い出せない				
簡単な指示が理解できない				
会話の途中で会話の内容が分からなくなる				
読むことができない				
書くことが出来ない (自分の名前を含む)				
(21) 睡眠一覚醒のパターンの変化				
過剰に寝る (より寝るようになった)				
不適切な睡眠 (より寝なくなった)				
夜頻繁に歩き回る				
夜になると混乱する				
いつもより日中に寝ている				
夜に歩き回る (夜間徘徊がある)				
いつもより早起きをする				
いつもより夜間に起きている				
(22) 歩行				
ひびがある道、溝がある道、でこぼこな道を、自信を持って歩くことができない				
歩行が不安定、バランスを崩す				
よく転ぶ				
歩くのに補助が必要				

NTG-EDSD- 4

	元々そうである	元々そうであったがより低下した	新しい兆候である	該当しない
23) 記憶				
親しい人を認識できない (スタッフ/ 親戚/ 友人)				
親しい人の名前を忘れる				
最近の出来事を覚えていない (1 週間程度以内のこと)				
慣れ親しんだ場所で道が分からなくなる				
時が分からなくなる (時間、曜日、季節)				
物を忘れる、失くす				
使い慣れた物を決まった場所にしまえない				
自分の名前をサインすることや押印が難しい				
新しい仕事や初めて会う人を覚えるのが難しい				
24) 行動と感情				
ふらふらと歩き回る				
活動や趣味への興味の喪失				
人々から遠ざかる				
日中活動や趣味に対する興味を失った				
一人の世界にふけている				
反復・こだわり行動がある				
物を隠したりため込んだりする				
使い慣れた道具の使い方が分からない				
衝動的な行動が増えた (人を触る、言い争う、物を奪う)				
不明朗であったり、自信を喪失している				
悲観的になったり心配性になったりする				
抑うつ的である				
言動が攻撃的である				
行動が攻撃的である				
かんしゃくをおこす、わけもなく泣く、叫ぶ				
無気力であったり、気怠そうである				
独語がある				
25) 本人からの申告				
物事を行う能力に変化があった				
聴力に変化があった				
視力に変化があった				
思考に変化があった				
興味に変化があった				
記憶に変化があった				
26) 他者の観察による注目すべき変化				
歩行中に (例えば、転倒する、つまづく、不安定である)				
性格について (例えば、外出中に沈んでいる)				
友好性について (例えば、問いかけに対して反応しない)				
注意力について (例えば、合図を見落とす、気を取られる)				
体重について (例えば、体重減、体重増)				
異常な自発的行動 (例えば、頭、首、手脚、胴体)				

[あてはまる欄をチェックしてください]

	²⁷⁾ 慢性疾患*	最近の状態 (この1年)	ここ5年の 状態	生来の状態	症状はない
	骨、関節と筋肉				
1	関節炎				
2	骨粗しょう症				
	心臓と循環器				
3	心臓の状態				
4	高コレステロール				
5	高血圧				
6	低血圧				
7	脳卒中				
	ホルモン				
8	糖尿病 (タイプ1またはタイプ2)				
9	甲状腺障害				
	肺 / 呼吸				
10	ぜんそく				
11	慢性気管支炎				
12	睡眠障害				
	メンタルヘルス				
13	アルコールまたは薬物依存症				
14	不安障害				
15	注意欠陥障害				
16	双極性障害				
17	認知症 / アルツハイマー病				
18	うつ病				
19	摂食障害 (拒食症、過食症)				
20	強迫性障害				
21	統合失調症				
22	その他:				
	疼痛 / 違和感				
23	背痛				
24	便秘				
25	足の痛み				
26	胃腸の痛みや不快感				
27	頭痛				
28	臀部 / 膝の痛み				
29	首 / 肩の痛み				
	感覚				
30	めまい / 回転性めまい				
31	聴覚障害				
32	視覚障害				
	その他				
33	がん: タイプ				
34	慢性疲労				
35	てんかん / 発作性疾患				
36	胸焼け / 逆流性食道炎				
37	尿失禁				
38	睡眠時無呼吸				
39	チック / 運動障害 / 痙縮				
40	歯痛				

*項目は、「健康と知的障害の縦断調査」(イリノイ大学シカゴ校)から引用した

⁽²⁸⁾ 最近の薬物治療の状況について

はい	いいえ	あてはまるタイプ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	慢性疾患の治療
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	メンタルヘルスまたは行動上の問題の治療
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	疼痛の治療

参照のため、現在の投薬リスト、投与量、処方時期

リストは、参照用に添付されている

⁽²⁹⁾ 他の顕著な変化や関連事項についてのコメント

⁽³⁰⁾ 次の段階 / 助言

かかりつけ医師のアセスメント参照

担当医療職が内部的に見直しをする

年1回のレビューを行う / 年1回のウェルネス訪問

月____回行う

完了情報

⁽³¹⁾ 完了日	⁽³²⁾ 所属組織/事業者
記入者	
対象者との関係性（支援スタッフ、親戚、評価者、他）	
前回調査からの期間	

謝辞：このスケールは、Carl V.Tyler, Jr.医師の支援により、サウスイーストPA 認知症スクリーニングツール（DST）と LHIDS（健康と知的障害の縦断的調査； Rimmer& Hsieh,2010）の内容に符合する DSQIID（*知的障害者用認知症半別尺度； Deb,S.,2007）、さらに米国で使用するための認知症のため NTG 早期発見尺度としての知的障害に関する全米作業班と認知症実践の内容に対応している。

www.aadmd.org/ntg/screening